

もっともっと充実しました!
産前・産後の支援

広報 2026 8 月
No.1301 第3金曜日号

ひらつか

安心し、頼ってる



旭地区にある「たんぽぽ助産院(母乳と育児の相談室)」での産後ケア。デイサービスを利用した3組は、助産師やボランティアの方と和やかに話をしながら、ゆっくりとランチの時間を過ごしていました。今号では、産前・産後に利用できる支援などを紹介します。

目次

1～4面…**特集**産前・産後の頼れる味方…市が進める母子や家族に寄り添う支援や、市民病院の産婦人科・小児科の頼れる医療体制などを紹介します。

5～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 〆0463-23-9467

●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)



Hiratsuka City



産前・産後の頼れる味方

産前の体調不良や産後の不安に苦しんでいたたり、家族がそれに悩んでいたたりしませんか？
今号では、安心して出産・子育てができるように、市が進める支援などを紹介します。

健康課 ☎ 55-2111

切れ目のない支援で寄り添う

妊娠・出産・子育ての不安や悩みに寄り添う「ひらつかネウボラールーム はぐくみ」を知っていますか。市の保健師や助産師、管理栄養士が常駐し、相談や情報提供などを行っています。切れ目のない子育て支援の最初の窓口として、妊娠中の方や子育て中の家庭をサポートします。



困ったときに相談できる存在としてお母さんとなつがる大切な時間です」と続けます。

安心感につなげる



困ったときの相談所
同ルームは、母子健康手帳の交付場所であるため、産前に必ず訪れる機会がある場所です。母子健康手帳の交付時には、妊娠中の体調や生活、出産への不安などを丁寧に聞き取ります。産前・産後に頼れる支援なども案内しています」と話すのは市健康課の保健師、大内康子さん（右下写真）。「手帳の交付だけでなく、

医療機関でのお母さんの体調管理と赤ちゃんの成長確認は、安心・安全な出産に臨むために必要不可欠です。その中で、経済的な不安を少しでも軽減できるよう、市は妊婦健診の補助を増額してきました。また産婦健診では産後1カ月健診の補助額の引き上げに加えて、2週間健診の補助を新設。より早い段階で医療機関に体の不調などを相談で

子育てを2人で学ぶ



きるようになりました。「市が医療機関などと連携して、保健師や助産師による訪問支援や、地域のサポートなどにもつなげられる体制を整えています」。



離乳食を作り、父母が試食します

医療機関との連携の他に、市では「子育て」につながる学びの機会も重視しています。「近年は女性だけでなく『パパの産後うつ』も注目されています。お互いの心の負担を和らげるためには、育児中のコミュニケーションが大切です」と大内さん。「子どもが生まれる前に育児や女性の心身の変化を2人で理解しているだけでも、生活の変化の受け入れ方が変わると思っています」と、相談会（左囲み）や母親父親教室などの活用を勧めま

独りで頑張らない



す。離乳食教室では、パートナーと一緒に参加しやすいよう、4月から、土曜日の開催日が増えていきます。「共に親として成長し、安心・安全に平塚で過ごしてもらえらるよう、今後も切れ目のない支援を充実させていきます」と力強く語ります。

不安や悩みを相談



④産前・産後メンタルヘルス相談⑤育児相談⑥7カ月児相談（上写真）などがあります。④は、妊産婦のパートナーも相談を受けられます。また⑤はパートナーが一緒に参加できる機会を増やすため、4月から、午後開催の日が追加されました。⑥では、身体測定や相談の後に、市図書館のブックスタート（読み聞かせや絵本のプレゼントなど）を7月から取り入れています。

予約が必要です。日程など、詳しくは6面中段にある「子どもの健康」をご覧ください。

「子どもの健康」は毎月第3金曜日号のコーナーです。産前・産後の方や家族が対象の相談会・教室を紹介しています。

1日誰とも話さず社会からの孤立を感じる、慣れないことの連続で心身の疲労を感じる……など、育児の中で生まれる不安や不調。そのような状況のお母さんや家族をサポートするため、市では医療機関・助産院・事業所に委託して「産前・産後ヘルパー派遣（下囲み）や、産後ケア事業（3面）を展開しています。大内さんは「地域には頼れる支援があります。皆さんの声を聴きながら、内容も拡充していきます。ぜひ利用して、体と心を休める時間を大切にしてください」と呼びかけます。

… 自宅で家事・育児をサポート …

市では「産前・産後ヘルパー派遣」を令和元年に導入。事業所の職員が自宅に訪れ、産前・産後の生活を支援します。今年4月、利用期間を産後6カ月未満から1年未満に延長、利用上限を20回から30回に拡大しました。「どんぐり産前産後ケアサービス」で6年間、同支援に携わる野間香織さん（右写真）に話を聞きました。



安心して任せてほしい

人を自宅に入れるのは、警戒してしまうものです。だからこそ「安心して任せてもらって大丈夫ですよ」という雰囲気づくりを大切にしています。休むための支援なので、利用する方が何か準備する必要はありません。リラックスして過ごしてもらいたいですね。また、利用する方の過ごし方はさまざまです。依頼した2時間は1人で休みたい方がいる一方で、話をたくさん聞いてほしい方もいま

す。依頼内容も多岐にわたるので、利用する方の「こうしたい」をできる限りくみ取れるよう努めています。



まずは1回利用して

利用期間が延び、利用者の広いニーズに対応できるようになったと感じます。利用できる回数も増えたので、利用頻度が増えた方もいますね。子どもの成長・状況に合った内容で頼ってもらえたらと思います。

産後は目の前のことに精いっぱい、他の事を後回しにしてしまいがちです。実際に「ずっと使うか迷って、申請を後回しにしていた。こんなに楽になるなら、もっと早く利用すれば良かった」という声もよく聞きます。「まだ頑張れる」と気を張らず、まずは1回利用してもらえたらうれしいです。

利用例（家事）

午後1時～3時での利用があった日を紹介。（左）掃除機・フローリングワイパー掛けの他、トイレや浴槽を清掃。利用者とコミュニケーションを取ることも（右）掃除後は食事作り



ヘルパー派遣の利用方法

市ウェブ（右2次元コード）にある④で申請してください。郵送または直接、〒254-0082東豊田448-3ひらつかネウボラールームはぐくみ（保健センター）でも申請できます。約10日で利用承認（決定）通知書が届きます。利用券はありません。その後、利用希望日の7日前までに派遣事業所に電話で予約し、サービス内容を決めます。



●利用できる方 市内在住で、母子健康手帳を取得し、出産後1年未満で次のいずれかに当てはまる方。①妊産婦で日中家事・育児をする人が他におらず支援が必要②体調不良・安静が必要などの理由で、育児・家事が困難（妊娠中の場合、医師の診断書が必要）など。

●派遣限度・日時・料金 期間中30回（多胎児の場合は40回）まで。平日の午前9時～午後5時に、1回2時間以内、1日2回までが上限。1回1,400円。

依頼できる内容は事業所で異なります。市ウェブにある事業所一覧をご覧ください。くか、事業所へ直接確認してください。



デイスサービス(3時間) たんぽぽ助産院(河内2-14-67)の場合

午前10時～午後1時。お母さん同士の交流を重視する同施設では3組が一緒に過ごす。施設によっては1組だけでの利用。
①利用簿などを提出し、助産師に近況を報告②赤ちゃんは授乳の前後に体重測定③④お母さんが心身の健康状態チェックや乳房ケアを受ける間、赤ちゃんは

ボランティア(④左上)や他の利用者が見守ってくれる⑤午前11時30分ごろからの約1時間はランチの時間⑥マヨネーズの代わりに豆腐を使うポテトサラダなど、母体に負担の少ない食材で作る栄養たっぷりなメニューが並ぶ⑦食事中に赤ちゃんがぐずった時などは助産師が対応



産後ケアの利用方法

出産後に、市ウェブ(右2次元コード)にあるで申請してください。利用承認通知書・利用券(7枚)・利用簿が送付されたら、利用したい施設を予約してください。利用当日は、送付された3点を持参し、利用者負担額(料金)を施設へ支払います。



●**利用できる方** 市内在住で、産後1年未満の方(令和8年4月1日以降に出産した方)。

●**利用上限(利用券の枚数)** ショートステイは連泊の6泊7日で7枚(1泊2日だと2枚)、アウトリーチ・デイスサービスは7回(1回1枚)。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

利用できる市内事業所

たんぽぽ助産院 デイスサービス(3時間)・アウトリーチ。
助産院LunaLuna(長持448-12) デイスサービス(3時間・6時間)、アウトリーチ。
出張助産師サロンBaby Lihi アウトリーチ。

市民病院(南原1-19-1)・小清水産婦人科クリニック(徳延1-16-20)・前田産婦人科(松風町13-37)では、各院の出産者への産後ケアを展開しています。他に近隣市町村の17事業所も利用できます。

← 4面 安心の医療体制

： 出産後の母子の心と体をケア ：

令和5年1月に始まった市の産後ケア事業。出産後の体調に不安がある方が、医療機関や助産院によるケアを受け、体調の回復・育児の不安を解消するための事業です。市の利用券を使うことで、利用者負担額を抑えて、必要なサービス(下囲み)を受けられます。

産後すぐから頼って大丈夫



「産後の大変な時期のお母さんたちと、なるべく早く出会えることを願っています」と話すのは、「たんぽぽ助産院(母乳と育児の相談室)」の助産師、鈴木由美さん(写真⑦)。

「出産後すぐに申請を済ませておいて、必要なサービスを適切な時期に活用できるようにしてほしいです」と呼びかけます。

例えば訪問型の支援「アウトリーチ」は、病院で1カ月健診を受けた後に存在を知り、「使いたかった」と言う方が多いそう。鈴木さんは、産後1カ月までの早い時期の利用を勧めます。「入院中から授乳がうまくいかず、胸の張り

サービスの種類・料金

料金は多胎や住民税非課税世帯の場合、異なります。

ショートステイ(宿泊型)

助産院・病院に泊まり、ケアを受けられます。1泊2日で1万8,000円(1泊増えるごとに9,000円)。

アウトリーチ(訪問型90分)

外出が大変な時期に、自宅で母子のケアが受けられます。2,700円。

デイスサービス(3時間・6時間)

助産院・病院で日帰りの休息、母子のケアが受けられます。母親への昼食提供があります。3時間3,000円、6時間4,800円。

が強く見られた場合などは、退院後すぐに利用するのが効果的です」と説明します。

人との会話が気分転換に



鈴木さんはお母さんの心に生まれる、「このままでいい」「楽しい」などのポジティブな

退院翌日から利用 押田彩乃さん(写真①左)

退院してすぐは母乳、その後は子どもの吐き戻しなどに悩んでいたため、確認と相談ができて安心でした。また市内に引っ越してきたばかりで、同世代の友人が近くにいなかったため、人と一緒にランチをできるのがうれしかったです。知り合いができて、1人だと勇気がでなかった他の子育て支援施設(4面下段)を利用するきっかけにもなりました。

利用できる期間の延長



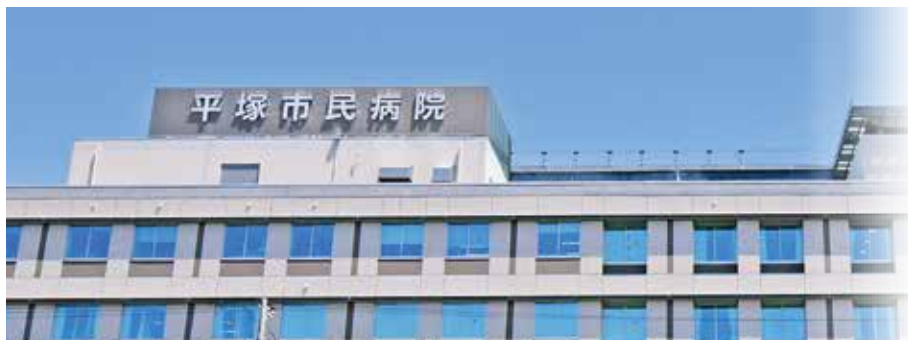
令和8年度、市の産後ケア事業の利用期間は、産後4カ月未満から、1年未満になりました(同年4月1日以降に

利用できます)。産後ケア事業が始まってから約4年。初年度は100人未満だった利用者は昨年度200人を超え、身近な支援となってきました。利用できる事業所数も倍になっています。「産後は、体も心も大きく変化します。新しい家族との生活を作っていく過程を、助産師として見守り続けていきたいです。気軽に頼ってくださいね」。

利用期間後も頼りにしています

片岡楓さん(写真⑤右下)

デイスサービスで過ごした時間は、家で子どもと2人の時間が増える中での気分転換になっていました。利用期間が終了してからは、ボランティアとして訪れる日があります。鈴木さんには身近な助産師さんとして今もお世話になっていますよ。



産前・産後の「もしも」も安心

…心強いチーム医療…

安心・安全な出産に向けた継続的なケアや、妊産婦や小児の急患に対応する市民病院の産婦人科や小児科。頼れる医療体制などを紹介します。

☎ 経営企画課 ☎ 32-0015

休日や夜間、子どもの急な体調不良

いつ・どこを利用する？

保健センター内にある休日・夜間急患診療所の小児科が開いている時間(下表)は、まずは同診療所を利用しましょう。詳しい検査や入院が必要だと判断された場合、速やかに市民病院に紹介され、対応できる体制が整っている

休日・夜間急患診療所(東豊田448-3)	
小児科の受付時間 ☎55-2145	
日曜日・祝日・年末年始	午前9時～11時30分 午後1時30分～4時30分 午後7時～10時30分
平日・土曜日	午後7時～10時30分

ので安心です。ただし、生後3カ月未満で発熱・呼吸障害がある場合や、生後3カ月以降でも顔色が非常に悪いなど、明らかにいつもと異なる場合には、市民病院の救命救急センターを受診すべきか、市民病院 ☎32-0015へ連絡してください。

また、かながわ小児救急ダイヤル「#8000(または ☎045-345-8865)」で、適切な対処などを相談できます。利用できるのは、土・日曜日と祝日が24時間・平日が午後6時から14時間です。

ので安心です。ただし、生後3カ月未満で発熱・呼吸障害がある場合や、生後3カ月以降でも顔色が非常に悪いなど、明らかにいつもと異なる場合には、市民病院の救命救急センターを受診すべきか、市民病院 ☎32-0015へ連絡してください。

休日・夜間の二次救急

現在、平塚・中郡地域で唯一、休日・夜間の二次救急も担っている同院の小児科。救命救急センターで、24時間365日対応しています。大学病院などの小児科専門医の支援や、地域の小児科開業医との連携で、体制を維持しています。「平塚・中郡の救急車から

の応需要請には、ほぼ100%対応できるようにしています。『市内で治療してもらえ施設があつて良かった』などの言葉が、励みになっています」と福島医師。続けて、子どもが急な体調不良になった際の両親の不安に寄り添いながら、救命救急センターの受診方法を案内します(上囲み)。「連携できる体制をしっかり構築しています。安心して利用してくださいね」と呼びかけます。



救命救急センター内の小児の診察室

小児急患に24時間対応

同院の小児科では、ほとんど全ての分野にわたる急性・慢性疾患に対応しています。循環器・新生児・感染領域などの専門資格のある医師が常勤。さらに神経・腎臓・アレルギー専門の非常勤医師が専門外来を開いています。同院小児科部長の福島直哉医師は、「市内の周産期救急にも対応できる体制作りをしています。他の病院とも連携しながら、小児科領域を、できる限り市内で完結できるよう努めています」と力強く語ります。

後の適切な育児環境を整えてもらう準備として、パートナーや両親と一緒に宿泊できる「ファミリーステイ」をスタート。さらに8年度からは市の産後ケア事業のショートステイも利用できるようになりました。同院小児科病棟の看護師長、高田佳奈子看護師は「多胎児の家族への新たなサポートも秋から始める予定です。チーム医療で家族に寄り添うことで、平塚で安心して育児を始め、その後も生活できるよう支えていきます」と優しくほほ笑みます。



産婦人科の藤本医師

ハイリスクや救急に対応

増加傾向です。『もしも』のときも、安心して頼れる存在でいられるよう、体制を整えています」と話します。

継続的に寄り添う

妊娠中の助産師外来から出産、産後の健診、母乳外来まで、助産師たちが継続して寄り添うのも同院の特徴です。同院産科病棟の看護師長、高橋のぶ看護師は「必要に応



(左)産科病棟の高橋看護師と(右)小児科病棟の高田看護師



ファミリーステイなどで利用できる個室

子育て中に頼れる存在は生活の身近な場所にも！

…親子が集う地域の遊び場…

0歳児から親子で利用できます。他の親子と交流したり、子育てアドバイザーに不安を相談したりできます。詳しくは、市ウェブ(各2次元コード)をご覧ください。

①子育て支援センター(南豊田381)

平日の午前10時～正午・午後1時～3時。就学前の子どもと保護者、各時間帯20組。



②子育てルーム なみなみ(袖ヶ浜20-1)

なぎさふれあいセンター内。休館日を除く、火・水・金～日曜日の午前10時～正午・午後1時～4時。おおむね3歳以下の子どもと保護者、各時間帯11組。

☎ ①は子育て支援センター ☎34-9076

②は南部福祉会館 ☎21-3370

つどいの広場(市内5カ所)

おおむね3歳以下の子どもと保護者。各開所日時・定員などは、右2次元コードから確認できます。



●もこもこ(明石町8-3) ☎21-0995

●きりんのうち(写真)

(四之宮2-18-26) ☎21-3141

●どれみ(公所868) ☎50-5525

●ぼけっと(夕陽ヶ丘22-3) ☎74-5680

●ここにくらす(北金目2-25-8) ☎73-7555



1～3カ月児もお母さんとゆつくり過ごせる場所です



稲刈りを体験しませんか



手作業での稲刈り体験です(写真)。

9月26日(土)午前10時～午後1時。荒天の場合は27日(日)に延期。里山体験フィールド付近の谷戸田(土屋1076)。市内在住の方50人(抽選)。雨具など。作業できる服装でお越しください。

応募 8月21日(金)～9月7日(月)に、**必要事項**・イベント名「市民と大学生による里地里山再生プロジェクト(稲刈り)」・参加者全員の年齢・駐車場利用の有無を、はがき・ファクス・メールで、**環境保全課**☎23-9969FAX21-9603k-hozen-event@へ。

色鉛筆とパステルを使い、好きな色で海と魚を塗って泳がせます。

9月12日(土)午前10時～正午。市内在住・在勤で、ひらがな・カタカナを読み書きできる外国籍の方10人(先着順)。筆記用具。

親子アートセラピー

10月2日(金)午後1時30分～3時30分。西図書館(山下3-29-1)。読み聞かせの初心者・学校や保育園などでボランティア活動をしている方20人(先着順)。

応募 8月26日(水)午前9時から、電話で、**中央図書館**☎31-0428へ。

はじめてのにほんご

2回は松原分庁舎(天沼7-18)、6回はZoomで開きます。

10月1日、27日の火・木曜日、全8回、午前10時～正午。市内在住・在勤で、ひらがな・カタカナを読み書きできる外国籍の方10人(先着順)。筆記用具。

応募 8月24日(月)午前9時から、市ウェブなどにある応募用紙を、郵送・ファクス・メールまたは直接、市役所1階の文化・交流課☎25-2500へ。

木造住宅の耐震相談会

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震化を建築士に相談できます。市の補助制度の説明もあります。

9月18日(金)午後1時30分～2時30分・3時30分(各回1時間)。市役所3階302会議室。各回5組(先着順)。**応募** 電話で、**建築指導課**☎20-8860へ。

女性囲碁入門教室

10月21日・28日、11月4日・11日・18日・25日、12月2日・9日の水曜日、全8回、午前9時30分～11時30分。まちづくり財団。囲碁を初めて学ぶ

10月～令和9年3月の先行予約を受け付けます。貸し出し期間は5日以内です。抽選。先行予約期間の終了後は先着順。抽選に外れた場合、令和

自治会や子ども会などが、触れ合い活動に活用できます。貸し出し品は、焼きそば台・焼き物器・かき氷機・ポップコーン機・わた菓子機・発電機。

地域の行事にイベント用品を貸し出します

大磯町の虎女ゆかりの地や、平塚宿京方からお菊塚まで巡ります。

9月27日(日)午前8時50分～午後0時30分。荒天中止。約5名。平塚駅北口ラスカ前(宝町1-1)集合・お菊塚(紅谷町15)解散。20人(抽選)。

1500円。歩きやすい服装と靴でお越しください。

応募 8月21日(金)午前10時～9月11日(金)午後5時に、**市観光協会**☎20-5110ウェブで応募してください。

広告

宝くじ
公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

Quick One
クイックワン

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業等に役立てられています。
公益財団法人神奈川県市町村振興協会

宝くじ
公式サイトで
発売中!

湘南ひらつか囲碁まつり

10月11日(日)
荒天中止



木谷門下会や日本棋院のプロ棋士ら約80人を招いて、1,000面打ち(500面を2回)などをします。要約筆記もあります。

先着順。チケットは8月22日(土)午前10時から、まちづくり財団文化事業課(見附町31-10)・同財団ウェブ(2次元コード)・ファミリーマート店内のマルチコピー機などで購入できます。午前10時～午後6時に、電話で、CNプレイガイド☎0570-08-9999でも購入できます。

1,000面打ち大会 午後0時50分～2時15分・2時35分～4時。紅谷パールロード(紅谷町)。囲碁(19路盤または13路盤)を打てる方、各時間帯500人。全席指定。1,500円。

プロ棋士との懇親会 午後5時～6時30分。平塚プレジール(八重咲町3-8)。50人。6,000円。

☎ まちづくり財団文化事業課☎32-2237

高校生以下を無料招待

1,000面打ちの対局2回目に参加できます(写真)。
囲碁(19路盤または13路盤)を打てる高校生以下の方100人(抽選)。
応募 8月22日(土)～9月19日(土)に、まちづくり財団文化事業課☎32-2237ウェブで、応募してください。

広告

平塚市のみなさん ご葬儀費用の準備は大丈夫? -葬儀のための保険-

ご葬儀で家族に負担を掛けたくないという人が増えています。そんな万一に備えてご家族の経済負担をサポートする保険が生まれました。
もしあん少額短期保険の「ご葬儀サポートプラン」なら、あなたの万一に備えて、大切なご家族への負担をサポートいたします。

満40歳から84歳までが加入でき、95歳まで一年単位で更新が可能で、持病があっても、通院中でも、規定の告知事項に該当しなければどなたでもご加入いただけます。

保険料は**月額2,000円**からで、**死亡保険金は60歳女性の場合167万2千200円支払われます。**

また、介護の準備金として、要支援から支払い対象となる介護一時金付定期保険もごございますので、**まずは資料請求!お気軽にお電話ください。**

資料請求・お問合せ
TEL.0463-22-2953

☎ サンライフグループ 関東財務局長(少額短期保険)第50号

もしもの時に安心をお届けする

株式会社 **もしあん少額短期保険**

〒254-0024 平塚市馬入本町13-2
令和5年12月1日よりサン・ライフ・ファミリーから社名が変わりました。

ボッチャ大会



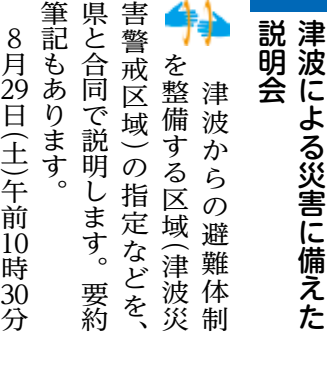
障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるスポーツです(写真)。要約筆記もあります。

10月18日(日)午前9時50分～午後2時。

ひらつかサン・ライファリーナ(中堂246-1)。市内在住・在勤・在学の方24組(抽選・一組3～5人・小学生は保護者同伴)。室内用運動靴・飲み物・昼食。運動できる服装でお越しください。

応募 8月21日(金)～9月14日(月)午後5時に、市ウェブなどにある応募用紙を、郵送・ファクス・メールまたは直接、市役所7階の**スポーツ課**☎31-3060FAX34-5522@sports@へ。

津波による災害に備えた説明会

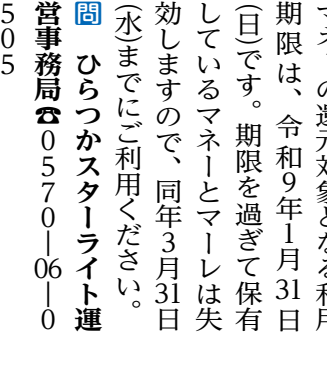


津波からの避難体制を整備する区域(津波災害警戒区域)の指定などを、県と合同で説明します。要約筆記もあります。

8月29日(土)午前10時30分

お知らせ

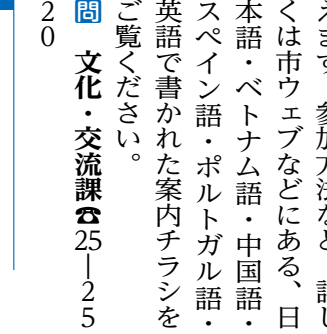
スターライトマナー・マレーが終了します



スターライトマナー(マナー)と、スターライトマレー(マレー)の事業が終了します。マナーのチャージとマレーが付く期限は12月28日(月)です。マナーの還元対象となる利用期限は、令和9年1月31日(日)です。期限を過ぎて保有しているマナーとマレーは失効しますので、同年3月31日(水)までにご利用ください。

問 ひらつかスターライト運営事務局 ☎0570-0610505

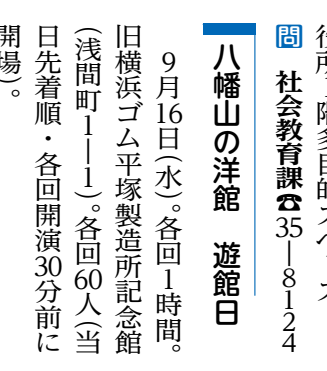
合同就職面接会



1日で複数の企業の面接を受けられます。

9月15日(火)・16日(水)、午前10時30分～午後0時30分・2時～4時。ひらしん平塚文化芸術ホール(見附町16-1)。高校生以下を除く、求職中の方。履歴書(面接を

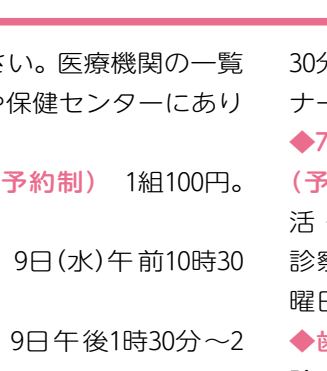
にほんごきょうしつ



ボランティアが日本語を教えます。参加方法など、詳しくは市ウェブなどにある、日本語・ベトナム語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・英語で書かれた案内チラシをご覧ください。

問 文化・交流課 ☎2512520

八幡山の洋館 遊館日

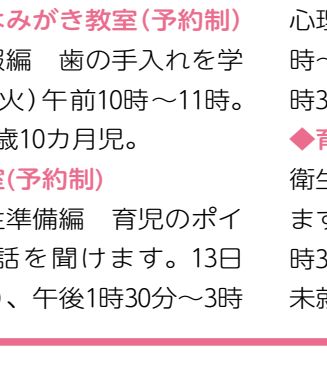


9月16日(水)。各回1時間。旧横浜ゴム平塚製造所記念館(浅間町1-1)。各回60人(当日先着順・各回開演30分前に開場)。

ピアノとうたとバラの会コンサート ピアノと声楽を披露します。午前11時開演。Autumn Concert バイオリン・声楽・ピアノの演奏です。午後2時開演。

問 旧横浜ゴム平塚製造所記念館 ☎3517114

特定失踪者パネル展



特定失踪者とは、朝鮮民主主義人民共和国に拉致された疑いがある方です。パネルを見て理解を深めませんか。

8月28日(金)～9月8日(火)、午前8時30分～午後5時(8月28日は1時から・9月8日は正午まで)。市役所1階多目的スペース。

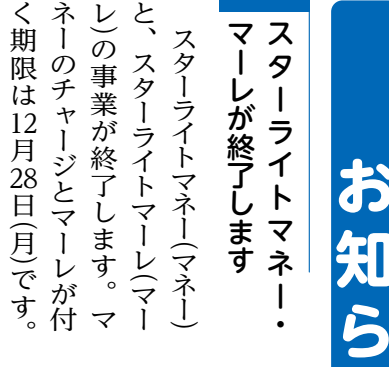
問 人権・男女共同参画課 ☎219861

ファーム・リーグ



横浜DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ戦です。8月29日(土)午後6時、30

ひらつか民俗芸能まつり 第50回記念展

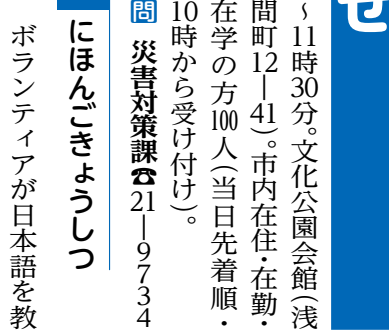


歴代ポスターや出演団体の活動を紹介します。

8月20日(木)～9月8日(火)、午前8時30分～午後5時(9月8日は3時まで)。市役所1階多目的スペース。

問 社会教育課 ☎3518124

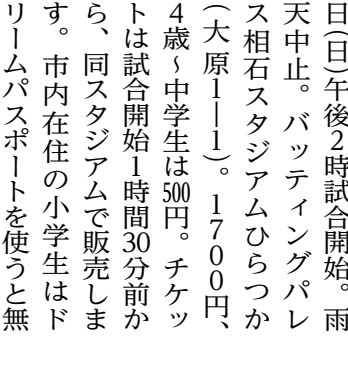
産業振興課



受ける枚数・コピー可。

☎219758

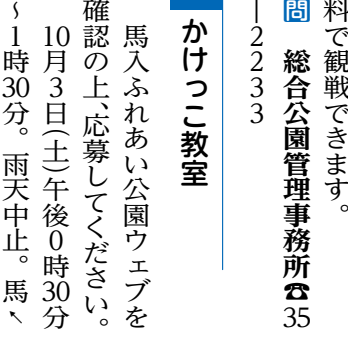
子どもの健康 9月



保健センター(東豊田448-3)。母子健康手帳をお持ちください。各相談・教室・診査の申し込み方法など、詳しくは市ウェブをご覧ください。2次元コードからもアクセスできます。

問 健康課 ☎55-2111

特定失踪者パネル展

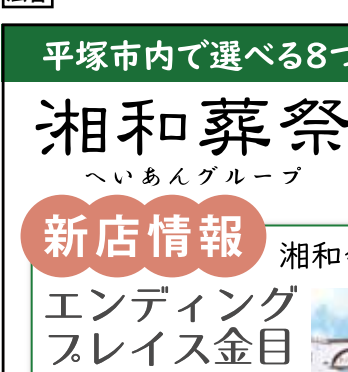


特定失踪者とは、朝鮮民主主義人民共和国に拉致された疑いがある方です。パネルを見て理解を深めませんか。

8月28日(金)～9月8日(火)、午前8時30分～午後5時(8月28日は1時から・9月8日は正午まで)。市役所1階多目的スペース。

問 人権・男女共同参画課 ☎219861

ファーム・リーグ



横浜DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ戦です。8月29日(土)午後6時、30

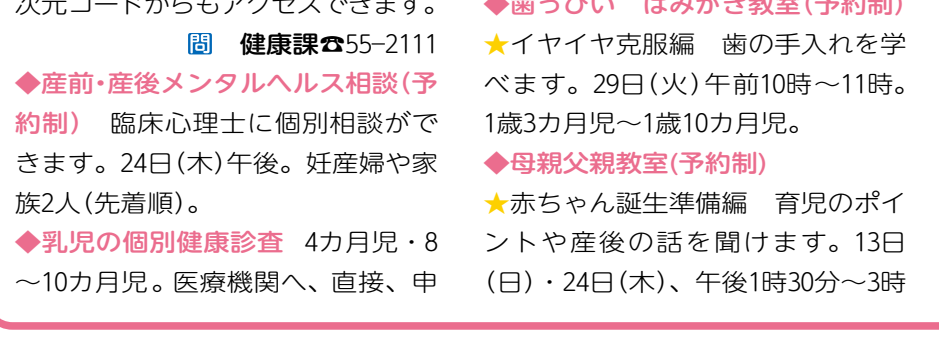
子どもの健康 9月



保健センター(東豊田448-3)。母子健康手帳をお持ちください。各相談・教室・診査の申し込み方法など、詳しくは市ウェブをご覧ください。2次元コードからもアクセスできます。

問 健康課 ☎55-2111

特定失踪者パネル展

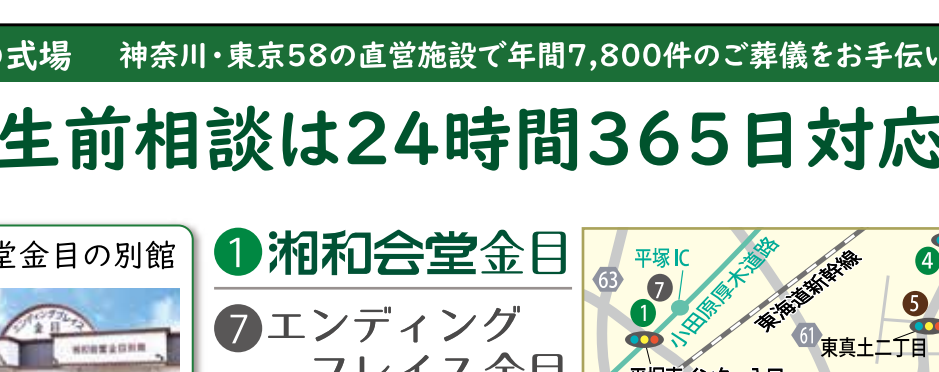


特定失踪者とは、朝鮮民主主義人民共和国に拉致された疑いがある方です。パネルを見て理解を深めませんか。

8月28日(金)～9月8日(火)、午前8時30分～午後5時(8月28日は1時から・9月8日は正午まで)。市役所1階多目的スペース。

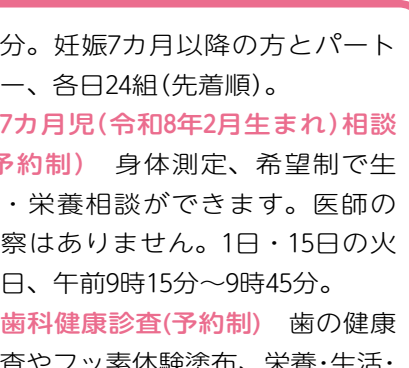
問 人権・男女共同参画課 ☎219861

ファーム・リーグ



横浜DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ戦です。8月29日(土)午後6時、30

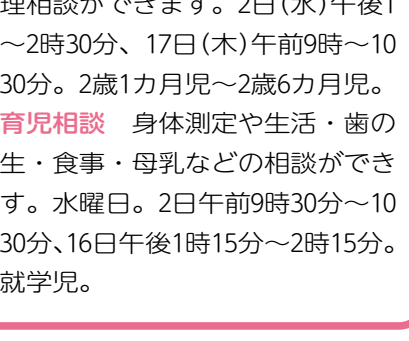
子どもの健康 9月



保健センター(東豊田448-3)。母子健康手帳をお持ちください。各相談・教室・診査の申し込み方法など、詳しくは市ウェブをご覧ください。2次元コードからもアクセスできます。

問 健康課 ☎55-2111

特定失踪者パネル展

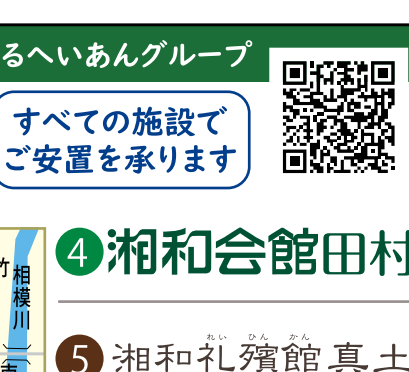


特定失踪者とは、朝鮮民主主義人民共和国に拉致された疑いがある方です。パネルを見て理解を深めませんか。

8月28日(金)～9月8日(火)、午前8時30分～午後5時(8月28日は1時から・9月8日は正午まで)。市役所1階多目的スペース。

問 人権・男女共同参画課 ☎219861

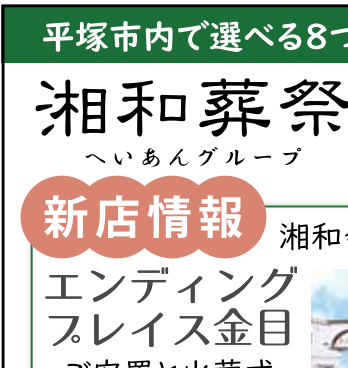
ファーム・リーグ



横浜DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ戦です。8月29日(土)午後6時、30

平塚市内で選べる8つの式場 神奈川・東京58の直営施設で年間7,800件のご葬儀をお手伝いするへいあんグループ

湘和葬祭



生前相談は24時間365日対応



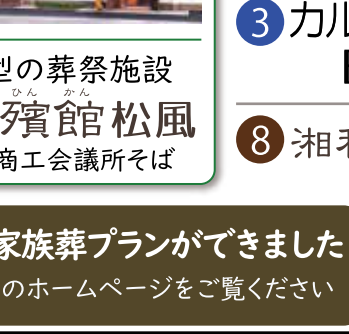
すべての施設でご安置を承ります



新店情報



湘和会堂金目



エンディングフレイス金目



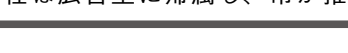
カルチャー BONDS 平塚



湘和礼殯館松風



湘和会館田村



湘和礼殯館真土



湘和会館追分



湘和会堂平塚



火葬式・家族葬・ご法事対応 詳しくはご相談ください

1日で送る家族葬プランができました

NEWS

1日で送る家族葬プランができました

詳しくは右上のホームページをご覧ください

0120-24-8130

資料請求・お問い合わせは

しょうわ 葬儀

※匿名可能

5～7面の広告内容の一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません

次回納期の市税・手数料

納期 8月31日(月)	
①市民税・県民税・森林環境税(第2期)	
②国民健康保険税(第3期)	
③後期高齢者医療保険料(第2期)	
④介護保険料(第3期)	
⑤清掃し尿従量手数料(第5期)	
⑥納税課	20-8216
⑦保険年金課	21-8775
⑧保険年金課	21-9768
⑨介護保険課	71-5238
⑩収集業務課	21-8796

お知らせ掲示板

市内学生書道展

平塚江南高校・平塚農商高校・平塚学園高校・高浜高校の生徒作品を展示します。
8月26日(水)までの午前10時～午後5時(26日は3時まで)。
ギャラリー11045平塚(明石町1-1)。

☎22-7625
ギャラリー11045平塚

●入木展
書道作品80点の展示です。
8月23日(日)までの午前9

くすの木体操講習会



市のご当地体操です(写真)。
9月29日(火)午後1時30分～3時。横内公民館(横内2506)。市内在住の方20人(当日先着順・1時から受け付け)。飲み物・タオル・室内用運動靴、お持ちの方は健康サポート手帳。

☎健康課55-2111

入ふれあい公園(中堂246-1)。小学生15人(先着順)。
運動靴・タオル・飲み物。
☎馬入ふれあい公園サッカー場24-1137

都市計画変更案の縦覧

生産緑地地区の都市計画の変更案を見られます。縦覧期間中に意見書を提出できます。
9月1日(火)～15日(火)。市役所6階まちづくり政策課。
☎まちづくり政策課21-8781

健康と福祉

スキマ時間でちよいとトレ エアロビクス編

9月9日(水)午前10時～11時30分。保健センター(東豊田48-3)。市内在住・在勤で18～64歳の方30人(先着順)。飲み物・タオル。動きやすい服装と靴でお越しください。生後6カ月以上の未就学児の保育もあります(先着5人・応募時に申し込み)。
☎8月21日(金)から、健康課55-2111へ。

家族介護リフレッシュ

腰痛肩こり予防プログラムで日頃の疲れを癒やします。市内在住で、家族を介護している方。抽選。
①9月4日(金)午前9時30分～午後0時20分。福祉会館(追分1-43)。12人②4日1時30分～4時20分。福祉会館。9人③9日(水)午前9時30分～午後0時20分。南部福祉会

認知症サポーター養成講座

9月26日(土)午後2時～4時。大野公民館(東真土2-12-1)。市内在住・在勤の方20人(先着順)。筆記用具・飲み物。
☎8月24日(月)午前8時30分から、電話で、高齢者よ

ろず相談センター倉田会53-1930へ。

終活セミナー

9月16日(水)午後1時30分～3時。美術館(西八幡1-3-3)。市内在住の方60人(先着順)。
☎8月24日(月)から、電話で、高齢福祉課21-9621へ。

女性向け 生きがい事業団の会員登録説明会

会員登録説明会の後に、セルフフェイシャルマッサージ講座を開きます。
9月7日(月)午前10時～正午。生きがい事業団(西八幡1-3-2-2)。市内在住で60歳以上の女性20人(先着順)。筆記用具。

認知症サポーター養成講座

9月26日(土)午後2時～4時。大野公民館(東真土2-12-1)。市内在住・在勤の方20人(先着順)。筆記用具・飲み物。
☎8月24日(月)午前8時30分から、電話で、高齢者よ

家族介護リフレッシュ

腰痛肩こり予防プログラムで日頃の疲れを癒やします。市内在住で、家族を介護している方。抽選。
①9月4日(金)午前9時30分～午後0時20分。福祉会館(追分1-43)。12人②4日1時30分～4時20分。福祉会館。9人③9日(水)午前9時30分～午後0時20分。南部福祉会

家族介護リフレッシュ

腰痛肩こり予防プログラムで日頃の疲れを癒やします。市内在住で、家族を介護している方。抽選。
①9月4日(金)午前9時30分～午後0時20分。福祉会館(追分1-43)。12人②4日1時30分～4時20分。福祉会館。9人③9日(水)午前9時30分～午後0時20分。南部福祉会

☎8月24日(月)午前8時30分から、電話で、高齢者よ

☎まちづくり政策課21-8781

広告

サン・ライフ
東京・神奈川エリア
クチコミ件数
Google
3,800件以上
★★★★★ 評価 4.8
年間ご葬儀件数 8,500件
クチコミで選ぶ
サン・ライフの
お葬式
テレビCM放映中
「お葬式で後悔しない」
ためのミニブック
プレゼント
24時間対応
通話無料
0120-41-3140
(株)サン・ライフ 本社/馬入本町13-11

うちの子も
結婚
できました!
独身のお子様の
結婚相談
お気軽にご連絡ください
マル道マークCMS取得
ムスベル株式会社 第2113001(2)-6号
結婚相談所ムスベル横浜
横浜市中区本町1丁目4番 プライムメゾン横浜日本大通 202号室
0120-138-026
通話料無料 営業時間:10時～19時 定休日:第2・第4水曜日

「新築そっくりさん」のリフォーム相談会
毎日10:00～17:00の間で相談承ります(水曜除く)
住友不動産ハウジング(株) 藤沢ショールーム
リフォームをご検討の方 お気軽にご来場ください
所在地 藤沢市藤沢388番 F.I.C富士ビル本館1階
電話 050-3112-6697 0120-093-462
アクセス 電車 JR・小田急・江ノ電 藤沢駅より徒歩1分
お車の場合は当社がご用意した駐車場をご案内いたします。事前にお電話ください。(当社が駐車場費を負担いたします)
当社セールスエンジニアが
お客様のご要望に沿ったご提案
をさせていただきます
事前予約制
二次元コードもしくはお電話で
ご予約ください
北口より
徒歩1分
ローソン
柳通り
さいか屋
ビックカメラ
コインパーキング
市役所
藤沢駅
横浜銀行
案内図
国土交通大臣許可(特-6)第29442号



来て見て楽しい！ハッピーワールド

9月6日(日)まで、美術館で、「絵本作家たかいよしかずのHappy World in HIRATSUKA」が開かれています。7月11日の作家本人による「おはなし会」には、たくさんの親子が来場。読み聞かせの後、「一番好きな妖怪は何ですか」「妖怪を見たことはありますか」など、子どもたちからの質問に、たかいさんは笑顔で答えていました。



CTで箱の中身を撮影



ヘリポートを見学



CTで撮影した画像を確認



人工心臓装置(ECMO)に触れる体験



呼吸するための管を入れる気管挿管の体験

7月25日、市民病院で「キッズ病院お仕事体験 救命救急センター24時」がありました。医師や看護師らの説明を聞きながら、さまざまな医療器具を用いた体験をしていました。参加した23組の親子は、一緒に楽しみながら、医療の現場を学んでいました。

7月27日～8月7日までの平日、まちなかベースきききちで、市内の小学生が過ごせる「夏のプチ子どもの家」を初めて開きました。7月31日は平塚農商高校の生徒が参加。小学生は、高校生の考えたワークショップなどをして、楽しそうに過ごしていました。



ぷっくりシール作り

子どもの家 期間限定 オープン



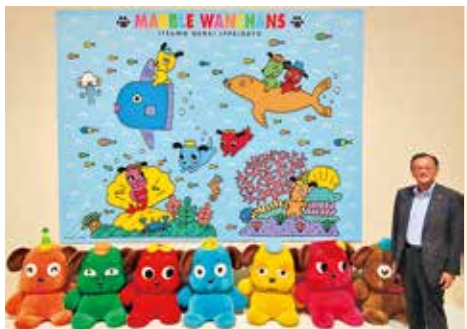
高校生考案のワークショップ、高さを競う「ストロートワ」作り



学校給食作りに挑戦



7月27日、学校給食センターで親子クッキング教室がありました。7組の親子が、学校給食メニューのミネストローネなどを作りました。子どもたちの「料理楽しい、良い匂い」という声に、保護者も「頑張って作れたね」とほほ笑み返していました。



の暑さも少しづつ和らぎ、夏休みもあとわずかとなりました。涼しい館内で多くの楽しい作品に触れて、今年の夏の思い出の1ページとしてはいかがでしょう。

酷暑日が各地で記録された、厳しい夏の暑さも少しづつ和らぎ、夏休みもあとわずかとなりました。涼しい館内で多くの楽しい作品に触れて、今年の夏の思い出の1ページとしてはいかがでしょう。

市美術館では、9月6日(日)まで「絵本作家たかいよしかずのHappy World in HIRATSUKA」が開催されています。たかいよしかずさんは、多くのなじみ深いお菓子や飲食店のキャラクター(写真なども描いています。今回の個展は、関東の公立美術館では初のお目見えです。絵本作家ならではの、楽しくて愉快な約800点の作品が皆さまのお越しをお待ちしています。

見どころはたくさんありますが、まずは2階展示室入り口にある壁一面の迫力ある大きな絵です。この絵は、たかいさんがわざわざ今回の展覧会に向けて、平塚市の地形の上に、かわいらしくキャラクターを配置して山や川、七夕まつりなど平塚の特徴を表現して作品化してくれたものです。ここから、見る人を元気にする作品づくりがモットーの、たかいワールドの始まりです。

色彩やかな絵画だけではなく、立体的な作品や、実際に触れて遊べる大きなすくなくともあります。絵本などの作品を通して子どもたちに、優しい気持ちを伝えたいという、たかいさんの情熱がひしひしと伝わってきます。その他にも、一階には、正方形の畳を18枚敷いた上で、のんびりと絵本を手にとって読むことができるコーナーもあります。

市長コラム 夏の楽しい思い出に 美術館へ行くこう



市長コラム 落合克宏

